

〈川久保支部大会〉

自立意識の高揚と 教育充実へ

三月十七日(日)午前

八時三〇分から、部落解放同盟川久保支部は、定期大会を開催した。同大会には、地区六五世帯から五三人が出席、「地対法」後の運動を見据えた、熱気あふれる雰囲気にも包まれた。

冒頭、中村一雄解放同

盟県連委員長は、

『「同対法」による長期計画によって、川久保地区の環境改善・小集落事業は一応終了するが、教育・就労対策が重要な課題としてあげられている。地区住民の自立・自闘、一致団結と組織の強化を進め、一層の努力を』

と、あいさつで強調、北

川新一支部長は、『「地対法」残り期限二年となっている。昨年一年間の活動を総括、今後の日常活動を積極的に進め、組織の統一と団結をより強化するためにも共に運動を』

と、あいさつで訴えた。

久保田栄治郎書記長が、一九八五年度運動方針案を提案、

完全解放にむかって、地区住民の自立意識の高揚と一人ひとりの解放への意識変革を進める時。『部落解放基本法』実現のための運動を展開し、一層の努力・協力を』と、補足的に説明。

「自立・自闘」「組織強化・教育」「基本法制

西二

大

独自の解放歌 『荊冠旗の下に』を作成

〈大森支部〉

部落解放同盟大森支部(近江八幡市)は、二月日の支部大会で、支部独自の解放歌「荊冠旗の下に」を作成し発表。三月十日に開かれた近江八幡市協第二〇回定期大会にも、若干の修正を加えて発表した。

大森支部では、同盟員は勿論、組織外でも愛唱されるよう、広く呼びかけている。

歌詩は次のとおり。(楽譜別項参照)

荊冠旗の下に
作詩 西川 秀夫
作曲 西 次郎
一、部落解放の ゆくて
を照らす
殉義の星と荊冠の

荊冠旗の下に
(大森解放版)
作詞 西川 秀夫
作曲 西 次郎



紅(くれない)の旗
なびかせて
勇猛果敢な 闘いは
我ら狭山の行動隊
二、荊(いばら)の道と
ふみこえて
紫紺(しこん)の空
にたちのぼる

まっかにはためく
荊冠旗
自由と平等とどきと
どす
我ら解放の夜明け
まで
※怒(いか)れよ兄弟
闘姉妹
解放戦士の 血は燃
ゆる
自立自闘の同盟員
※くりかえし

三、水平の道 うけつ
いで

差別と迫害 のり

こえる